

令和4年度

富山県東部消防組合一般会計
決算審査意見書

富山県東部消防組合監査委員

令和5年7月19日

富山県東部消防組合
管理者 村椿 晃 様

富山県東部消防組合

監査委員 石田 守

監査委員 前原 英石

令和4年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見について

地方自治法第233条第2項及び第292条の規定により、審査に付された令和4年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類について審査したので、その結果について意見を提出します。

令和4年度富山県東部消防組合一般会計決算審査意見

1 審査の対象

(1) 歳入歳出決算書

令和4年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書

(2) 付属書類

令和4年度 富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書

令和4年度 富山県東部消防組合一般会計実質収支に関する調書

令和4年度 富山県東部消防組合一般会計財産に関する調書

2 審査の期日と場所

期日 令和5年7月12日

場所 富山県東部消防組合消防本部 2階会議室

3 審査の方法

審査は、令和4年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、収支月計表、現金出納簿並びに関係諸帳簿、証書類について照合を行うとともに関係職員の説明を聴取して、計数の正確性、予算執行の適正性、収入支出の合法性及び執行内容の妥当性について審査した。

4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等は、いずれも関係法令に準拠して作成され、その計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、また、決算内容、予算執行状況についても適正であると認められた。

財産に関する調書と事務局及び各施設で保管する台帳等関係書類とを照合した結果、財産の管理状況は良好であると認められた。

なお、審査結果の概要と意見は、以下のとおりである。

5 決算の概要

令和4年度の一般会計の決算額は、予算総額1,389,931,000円に対し、歳入決算額1,392,112,864円(予算対比100.2%)、歳出決算額1,353,299,634円(予算対比97.4%)であり、差引形式収支額は38,813,230円である。前年度決算額と比較して歳入で52,730,713円の増、歳出で123,470,784円の増となっている。

この結果、歳入歳出差引残額は38,813,230円となり、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支38,813,230円の黒字となっている。

なお、当年度実質収支38,813,230円から前年度実質収支61,461,301円を差し引いた当年度の単年度収支は△22,648,071円の赤字となっている。

決算収支状況

(単位：円)

年度	会計	歳入 A	歳出 B	差引残額 C(A-B)	翌年度へ 繰越すべ き財源 D	実質収支 E(C-D)	前年度 実質収支 F	単年度 収支 G(E-F)
4	一般	1,392,112,864	1,353,299,634	38,813,230	0	38,813,230	61,461,301	△22,648,071
	計	1,392,112,864	1,353,299,634	38,813,230	0	38,813,230	61,461,301	△22,648,071
3	一般	1,339,382,151	1,229,828,850	109,553,301	48,092,000	61,461,301	54,100,429	7,360,872
	計	1,339,382,151	1,229,828,850	109,553,301	48,092,000	61,461,301	54,100,429	7,360,872
増	一般	52,730,713	123,470,784	△70,740,071	△48,092,000	△22,648,071	7,360,872	△15,287,199
減	計	52,730,713	123,470,784	△70,740,071	△48,092,000	△22,648,071	7,360,872	△15,287,199

なお、令和4年度における主要事業は下記のとおりである。

事業名	事業の内容
人事給与システム改修委託	R4.10.1 施行の国家公務員共済組合制度改正に伴い、新たに共済組合員の対象となる非常勤職員を人事給与システムに適用するためのシステム改修。
消火体験装置・煙中体験テントの購入	イベント等で体験型のPR活動を行い、消防職の魅力を発信し、将来消防士を目指す優秀な人材や消防団員の確保。 また、実際の火気を使用した消火訓練と煙中体験によって、火災に対する対応力や防火意識の向上を図るため購入。
東部はしご2オーバーホール（平成26年度導入）	長期間使用するはしご車は、災害現場の活動においては高所からの救出に使用するため、安全性の確保には、保守点検に加え安全基準に基づいたオーバーホールを定期に実施することとされており、分解しなければ確認できない、重大事故につながる不具合や故障の発見に努めるもの。

6 一般会計

令和4年度の一般会計決算額は、次のとおりである。

歳入決算額 1,392,112,864円（予算対比100.2%）

歳出決算額 1,353,299,634円（予算対比97.4%）

この差引残額（形式収支）38,813,230円から、翌年度へ繰り越すべき財源はなく、実質収支38,813,230円の黒字となっている。

当年度実質収支38,813,230円から前年度実質収支61,461,301円を差し引いた当年度の単年度収支は△22,648,071円の赤字となっている。

(1) 歳入

歳入決算状況は、次のとおりとなっている。

（単位：円）

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
4年度	1,389,931,000	1,392,112,864	1,392,112,864	0	0	100.2%	100.0%
3年度	1,388,153,000	1,339,382,151	1,339,382,151	0	0	96.5%	100.0%

① 収入状況

予算額に対する収入割合は100.2%であり、前年度収入済額と比較して52,730,713円の増となっている。

収入の内訳は、分担金及び負担金で、収入額は1,221,328,000円で全体の87.7%を占めている。以下、使用料及び手数料が2,597,850円で0.2%、県支出金が20,755,050円で1.5%、繰越金が109,553,301円で7.9%、国庫支出金が37,606,000円で2.7%となっている。

また、調定額に対する収入割合は100.0%で、収入未済額は0円となっている。

収入状況は、次の表のとおりである。

収入状況

（単位：円）

区分	予算額	調定額	収入済額				不納 欠損額	収入 未済額
			金額	構成比 (%)	予算対 比 (%)	調定対 比 (%)		
1. 分担金及び負担金	1,221,328,000	1,221,328,000	1,221,328,000	87.7	100.0	100.0	0	0
2. 使用料及び手数料	1,312,000	2,597,850	2,597,850	0.2	198.0	100.0	0	0
3. 県支出金	19,935,000	20,755,050	20,755,050	1.5	104.1	100.0	0	0
4. 繰越金	109,552,000	109,553,301	109,553,301	7.9	100.0	100.0	0	0
5. 諸収入	198,000	272,663	272,663	0.0	137.7	100.0	0	0
6. 組合債	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0
7. 国庫支出金	37,606,000	37,606,000	37,606,000	2.7	100.0	100.0	0	0
計	1,389,931,000	1,392,112,864	1,392,112,864	100.0	100.2	100.0	0	0

② 財源構成

歳入総額を使用料及び手数料、繰越金、諸収入からなる自主財源と、分担金及び負担金、県支出金、国庫支出金からなる依存財源に分類してみると、自主財源は112,423,814円、依存財源は1,279,689,050円となっており、その構成比は、自主財源8.1%、依存財源91.9%となっている。

また、財源構成を一般財源と特定財源に分類してみると、その構成比は、一般財源93.0%、特定財源7.0%となっている。

第1款 分担金及び負担金

(単位:円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
4年度	1,221,328,000	1,221,328,000	1,221,328,000	0	0	100.0%	100.0%
3年度	1,227,669,000	1,227,425,270	1,227,425,270	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は1,221,328,000円で、歳入総額に占める割合は全体の87.7%となっており、収入済額の内訳は、組合構成市町村からの組合運営費負担金で、魚津市545,405,000円、滑川市349,063,000円、上市町274,409,000円、舟橋村52,451,000円となっている。

第2款 使用料及び手数料

(単位:円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
4年度	1,312,000	2,597,850	2,597,850	0	0	198.0%	100.0%
3年度	1,312,000	2,272,500	2,272,500	0	0	173.2%	100.0%

収入済額は2,597,850円で、歳入総額に占める割合は全体の0.2%となっており、収入済額の内訳は、危険物施設設置許可検査手数料等で魚津市分1,035,900円、滑川市分1,068,450円、上市町分492,600円、防火管理講習修了証再交付手数料等900円となっている。

第3款 県支出金

(単位:円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
4年度	19,935,000	20,755,050	20,755,050	0	0	104.1%	100.0%
3年度	19,935,000	8,019,007	8,019,007	0	0	40.2%	100.0%

収入済額は20,755,050円で、歳入総額に占める割合は全体の1.5%となっており、収入済額の内訳は、県消防学校派遣職員負担金8,221,050円と前年度からの繰越明許事業の救助工作車Ⅱ型購入に係る富山県消防施設整備事業費補助金12,535,000円となっている。

第4款 繰越金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算額 対比	調定額 対比
4年度	109,552,000	109,553,301	109,553,301	0	0	100.0%	100.0%
3年度	58,433,000	58,431,429	58,431,429	0	0	100.0%	100.0%

収入済額は 109,553,301 円で、歳入総額に占める割合は全体の 7.9%となっており、収入済額の内訳は、令和3年度繰越金及び同繰越明許費となっている。

第5款 諸収入

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
4年度	198,000	272,663	272,663	0	0	137.7%	100.0%
3年度	198,000	233,945	233,945	0	0	118.2%	100.0%

収入済額は 272,663 円で、歳入総額に占める割合は全体の 0.01%となっており、収入済額の内訳は、共済事務等手数料 107,155 円、講習会場提供謝礼 60,000 円、気象観測謝礼 32,100 円、自動販売機設置電気料 39,375 円、その他 34,033 円となっている。

第6款 組合債

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
4年度	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%
3年度	43,000,000	43,000,000	43,000,000	0	0	100.0%	100.0%

第7款 国庫支出金

(単位：円)

年度	予算額	調定額	収入済額	不納 欠損額	収入 未済額	予算 額対比	調定額 対比
4年度	37,606,000	37,606,000	37,606,000	0	0	100.0%	100.0%
3年度	37,606,000	0	0	0	0	0%	0%

収入済額は 37,606,000 円で、歳入総額に占める割合は全体の 2.7%となっており、収入済額の内訳は、前年度からの繰越明許事業の救助工作車Ⅱ型購入に係る緊急消防援助隊設備整備費補助金 37,606,000 円となっている。

(2) 歳出

歳出決算状況は、次のとおりとなっている。

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
4年度	1,389,931,000	1,353,299,634	0	36,631,366	97.4%
3年度	1,388,153,000	1,229,828,850	98,233,000	60,091,150	88.6%

支出状況

予算額に対する執行率は97.4%であり、前年度支出済額と比較して123,470,784円の増となっている。

イ 支出の内訳

議会費873,258円、総務管理費136,705円、監査委員費48,109円、職員給与費885,997,925円、消防本部運営費129,617,021円、魚津署運営費15,029,003円、滑川署運営費11,504,748円、上市署運営費9,563,941円、舟橋分遣所運営費2,626,039円、消防本部施設整備費2,846,800円、消防本部施設整備費（繰越明許事業）97,850,487円、起債償還元金134,956,000円、起債償還利子3,095,598円、諸支出金59,159,000円である。

支出状況は、次の表のとおりである

支 出 状 況

(単位：円)

区 分	予算額	支 出 済 額			翌年度 繰越額	不用額
		金 額	構成比 (%)	執行率 (%)		
1. 議会費	913,000	873,258	0.1%	95.6%	0	39,742
2. 総務費	346,000	184,814	0.0%	53.4%	0	161,186
3. 消防費	1,190,338,000	1,155,035,964	85.3%	97.0%	0	35,302,036
4. 公債費	138,175,000	138,046,598	10.2%	99.9%	0	128,402
5. 予備費	1,000,000	0	0.0%	0.0%	0	1,000,000
6. 諸支出費	59,159,000	59,159,000	4.4%	100.0%	0	0
計	1,389,931,000	1,353,299,634	100.0%	97.4%	0	36,631,366

ロ 性質別の内訳

義務的経費では、人件費で874,714千円(64.7%)、物件費で256,236千円(19.0%)、維持補修費で1,914千円(0.1%)、扶助費で13,255千円(1.0%)、補助費等で69,133千円(5.0%)、公債費で138,047千円(10.2%)、義務的経費全体では1,353,299千円となり、決算総額の100.0%を占めている。

投資的経費なし。

性質別経費の状況

(単位：千円)

区 分	4年度決算額	構成比
1 人件費	874,714	64.64%
2 物件費	256,236	18.93%
3 維持補修費	1,914	0.14%
4 扶助費	13,255	0.98%
5 補助費等	69,133	5.11%
6 公債費	138,047	10.20%
うち元金	134,956	9.97%
うち利子	3,091	0.23%
計	1,353,299	100.00%
7 投資的経費	0	0.0%
普通建設事業	0	0.0%
うち単独事業	0	0.0%
歳出合計	1,353,299	100.00%

第1款 議会費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
4年度	913,000	873,258	0	39,742	95.6%
3年度	913,000	299,011	0	613,989	32.8%

支出済額は873,258円で、歳出総額に占める割合は全体の0.1%となっている。
不用額は39,742円で、予算額に対する執行率は95.8%となっている。

第2款 総務費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
4年度	346,000	184,814	0	161,186	53.4%
3年度	344,000	220,048	0	123,952	64.0%

支出済額は184,814円で、歳出総額に占める割合は全体の0.0%となっており、支出済額の内訳は、総務管理費136,705円、監査委員費498,109円となっている。
不用額は161,186円で、予算額に対する執行率は53.4%となっている。

第3款 消防費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
4年度	1,190,338,000	1,155,035,964	0	35,302,036	97.0%
3年度	1,191,185,000	1,034,599,630	98,233,000	58,352,370	86.9%

支出済額は1,155,035,964円で、歳出総額に占める割合は全体の85.3%となっており、支出済額の内訳は、職員給与費885,997,925円、消防本部運営費129,617,021円、魚津署運営費15,029,003円、滑川署運営費11,504,748円、上市署運営費9,563,941円、舟橋分遣所運営費2,626,039円、消防本部施設整備費2,846,800円、消防本部施設整備費(繰越明許事業)97,850,487円、償還元金134,956,000円、起債償還利子3,095,598円、諸支出金59,159,000円となっている。

不用額は35,302,036円で、予算額に対する執行率は97.0%となっている。

第4款 公債費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
4年度	138,175,000	138,046,598	0	128,402	99.9%
3年度	138,639,000	138,638,732	0	268	100.0%

支出済額は138,046,598円で、歳出総額に占める割合は全体の10.2%となっており、支出済額の内訳は、起債償還元金134,956,000円、起債償還利子3,090,598円である。

不用額は128,402円で、予算額に対する執行率は99.9%となっている。

なお、令和5年3月末現在で、起債償還残高は元金で523,190千円となっている。

第5款 予備費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
4年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%
3年度	1,000,000	0	0	1,000,000	0%

令和4年度において予備費の執行は無かったため、不用額1,000,000円、執行率0.0%となっている。

第6款 諸支出費

(単位：円)

年度	予算額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
4年度	59,159,000	59,159,000	0	0	100.0%
3年度	56,072,000	56,071,429	0	571	100.0%

前年度からの繰越金を構成市町村へ返還金として返還したため、執行率100.0%となっている。

7 財産管理

(1) 土地について

滑川消防署隣接寄贈地 1,675.00 m²
 (寄贈者 前滑川市長・前組合副管理者 上田 昌孝 氏)

(2) 建物について (令和4年度中の異動なし)

本部通信指令センター 延床面積 579.01 m²
 上市消防署舟橋分遣所 延床面積 273.04 m²
 天神山基地局 延床面積 5.85 m²

(3) 物品について (令和4年度中に取得した1件10万円以上)

	区 分	数 量
(消防本部)	消火体験装置一式	1
	煙中体験テント一式	1
	化学防護服マイクロケム 6000-GT	1
	ウェットスーツ (SAR仕様)	2
	半自動除細動器 (ZOLL AED Pro)	1
(魚津署)	消防用ホース (50mm ホース)	10
	救助工作車II型	1
(滑川署)	救助訓練人形	1
	消防署現場用ホース (50mm ホース)	10
(上市署)	消防署現場用ホース (50mm ホース)	8
(舟橋分遣所)	消防署現場用ホース (50mm ホース)	1
	消防署現場用ホース (65mm ホース)	1

8 意見

全体として、予算の執行は適正であると認められるが、一部において、予算に対し、不用額の多いものが見受けられる。様々な要因があると思うが、予算を適切に計上し、その事業目的が最大限に生かされるよう執行されたい。

また、新型コロナウイルス感染症について、去る5月8日からは感染症法上の位置付けが「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」に引き下げられたことから、社会経済活動がコロナ渦以前の姿をとり戻しつつあるとはいいいながらも、まだまだ構成市町村の財政状況は厳しい事が予測される。より一層の節減にも努められたい。

なお、契約事務については、入札・随意契約によるもの問わず、適正かつ厳正に実施し、地域住民の疑惑を招くことのないよう対応されたい。

9 むすび

以上、令和4年度富山県東部消防組合一般会計歳入歳出決算審査についてその概要と意見を述べた。

審査に付された歳入歳出決算書及び付属書類等はいずれも関係法令に準拠して作成され、決算内容、予算執行状況についても適正に処理されていた。

本部各署においては、消防広域化のメリットを十分に生かし、合理的かつ効率的な予算執行となるよう努められたい。

また、近頃では、地震や各地で急激な天候変化による豪雨の影響で水害・土砂災害などが相次いでおり、地域社会への甚大な被害が懸念されることから、地域住民の安全・安心と生命・財産を守るべく、社会使命を果たされるよう防災力・消防救急体制の充実強化に努められたい。